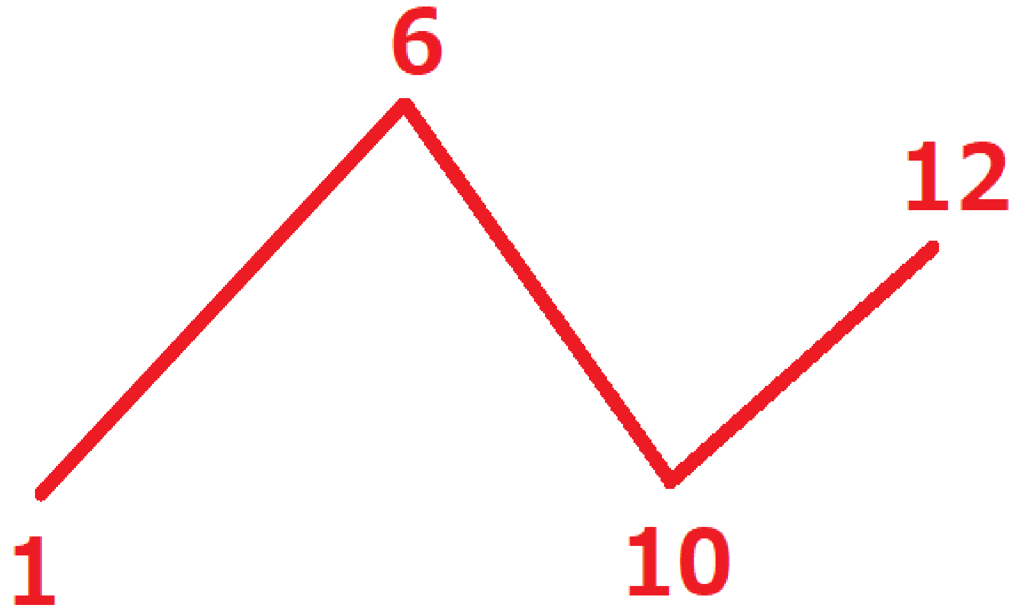
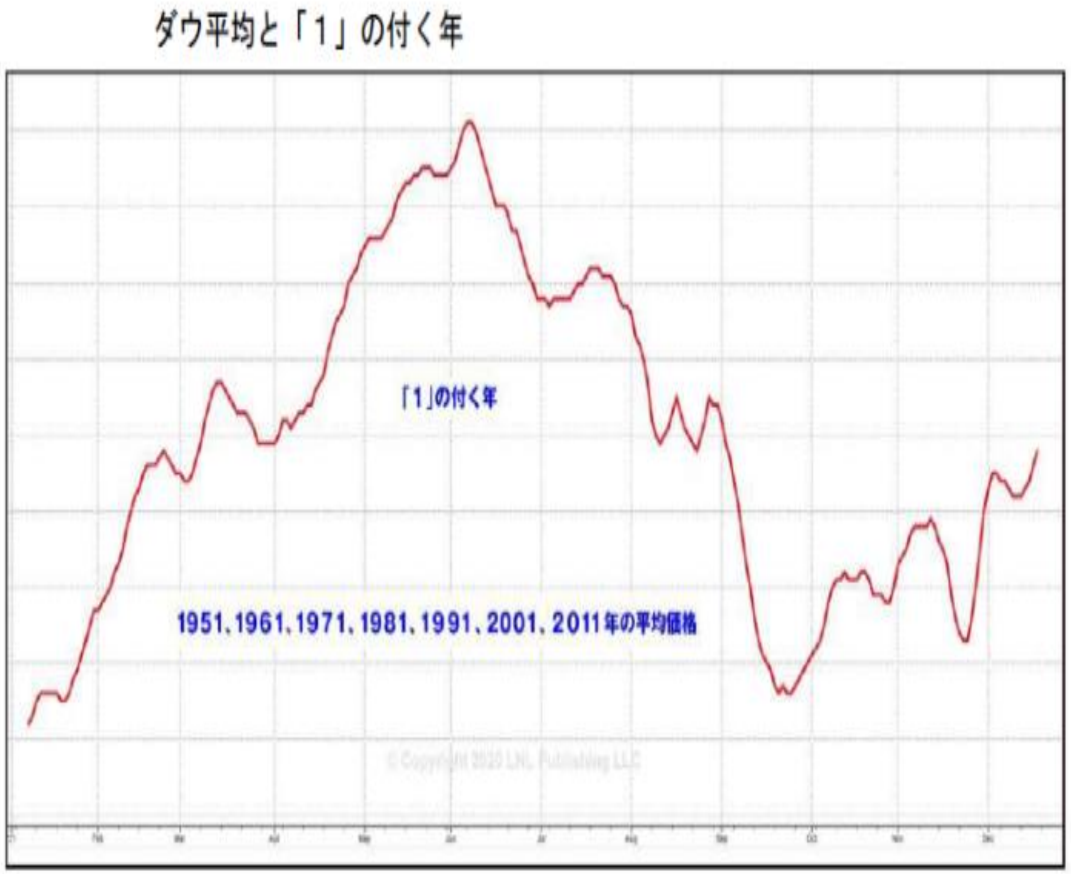
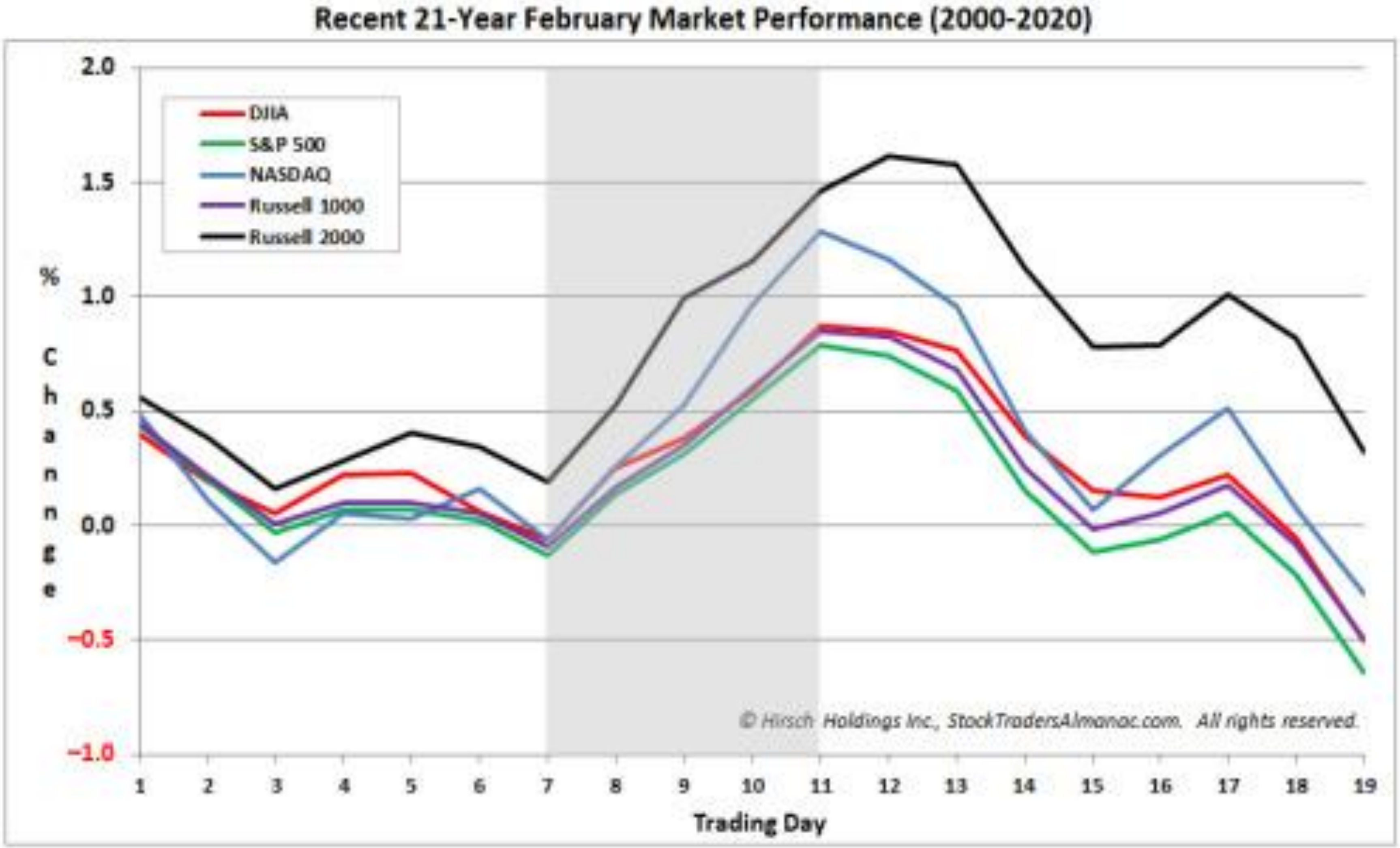
西暦末尾1の年のNYダウのサイクル





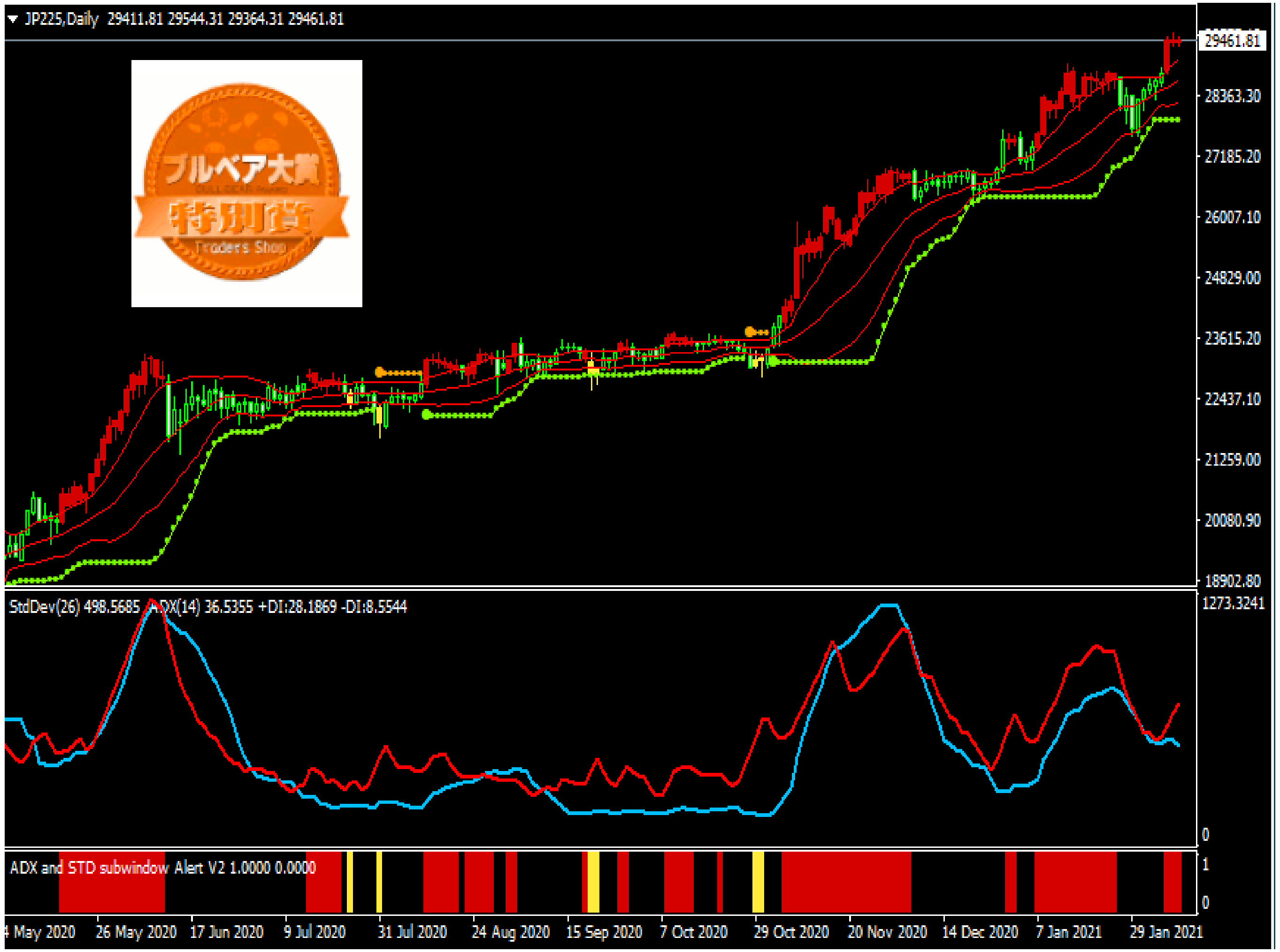
出所：「フォーキャスト2021」ラリー・ウィリアムズ

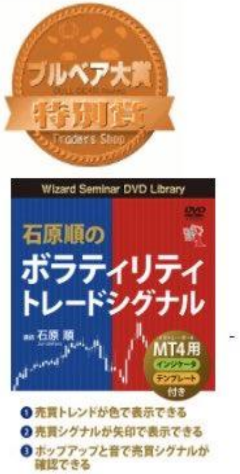
2月の米国株のシーズナリーサイクル



https://jeffhirsch.tumblr.com/post/642049600521388032/typical-february-trading-lackluster-over-last-21

日経平均CFD（日足）
順張りの標準偏差ボラティリティトレードの売買シグナル





DVD 石原順のボラティリティトレードシグナル

石原順（著）
2018年5月発売

読者からの推薦

シグナルがトレンドを教えてくれるのでわかりやすかった。(K.S様)

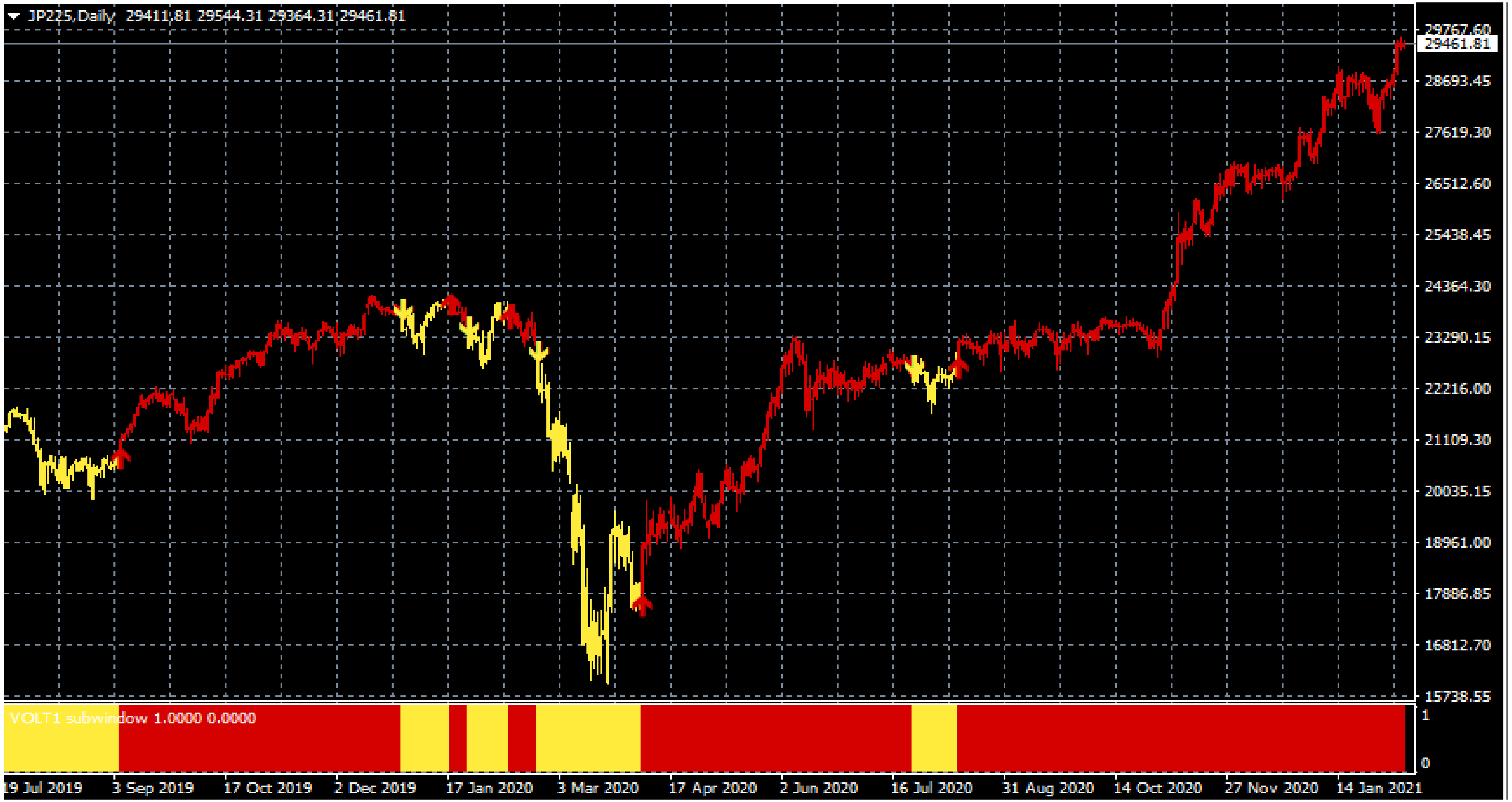
トレンドが一目で判りやすく様々な市場や様々な時間足に対応できるのでトレンドがある相場を探しやすい。結果的にリスクを低くトレードできるのが良いです。(S.Y様)

シンプルで分かりやすい指標。自分で考える入口になる教材です。(F.S様)

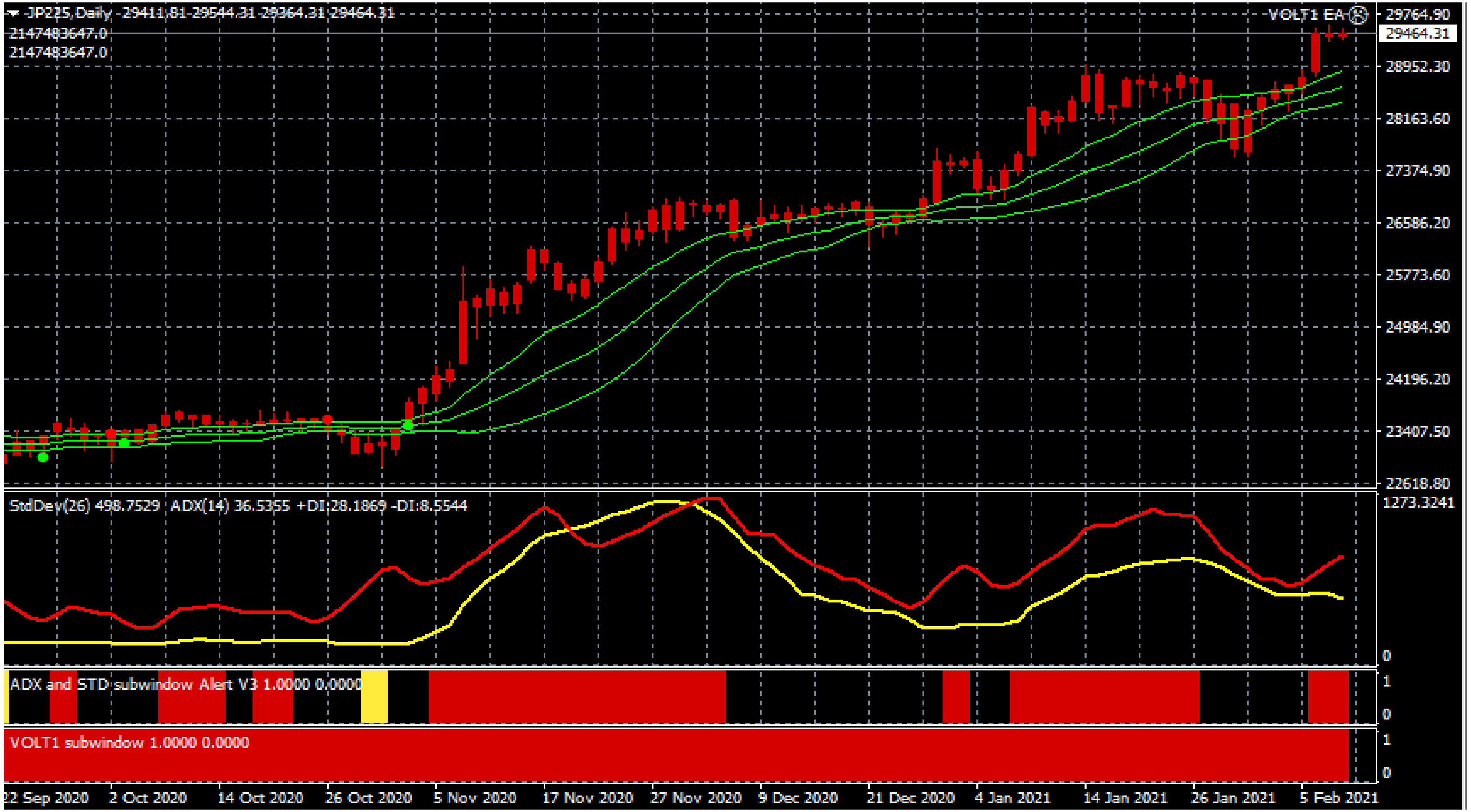
シグナルを確認しながら、利益がとれるよう常に注視している。(Y.J様)

投資対象や相場の経年変化に影響されず有効で、かつ長年相場を勝ち抜いてこられたご経験に裏打ちされたトレードシグナルとその理論、そして発信下さる相場の大局は、石原氏が個人投資家の灯台的存在たる所以です。(O.H様)

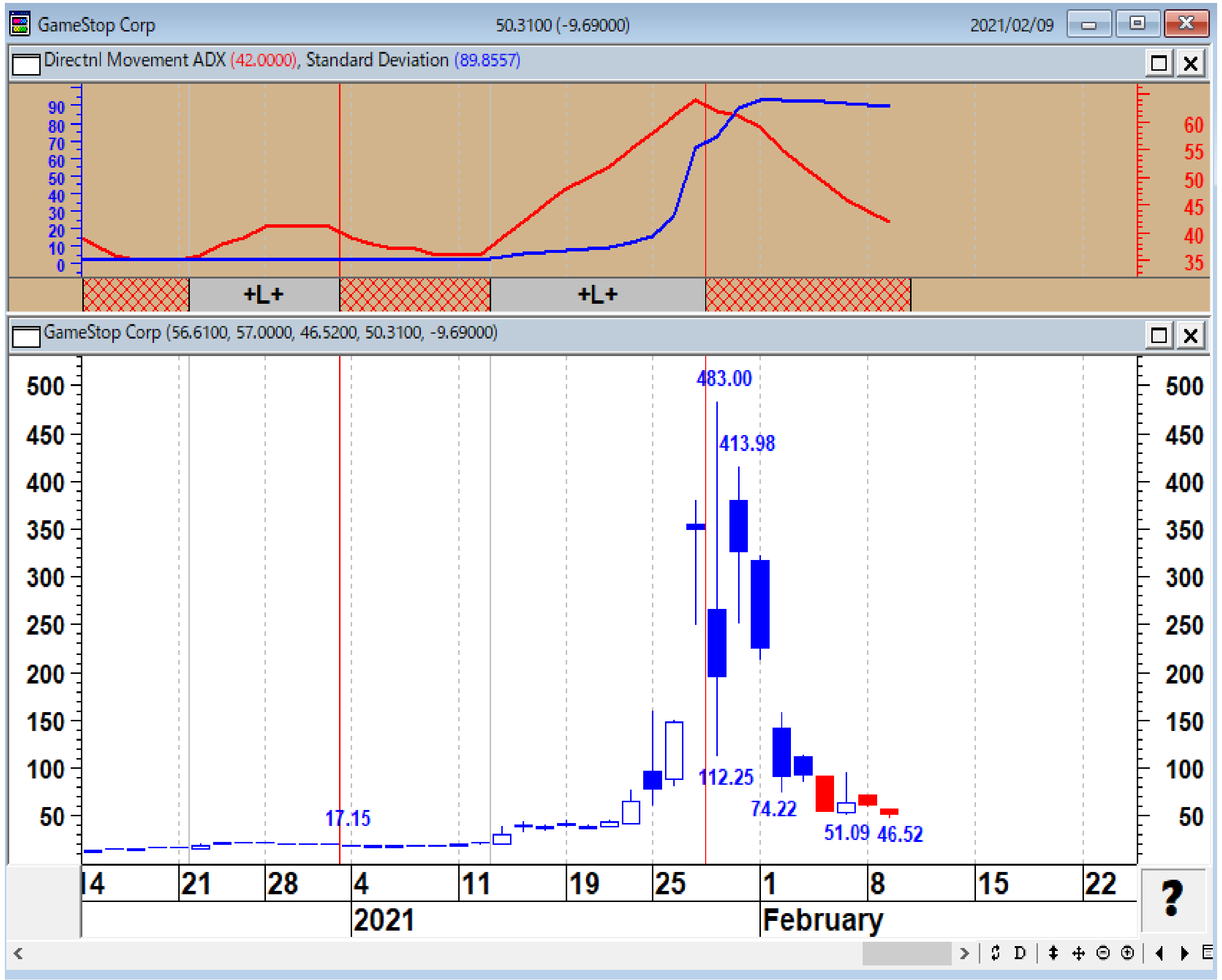
日経平均CFD（日足）
順張りのボラティリティフォロートレードの売買シグナル



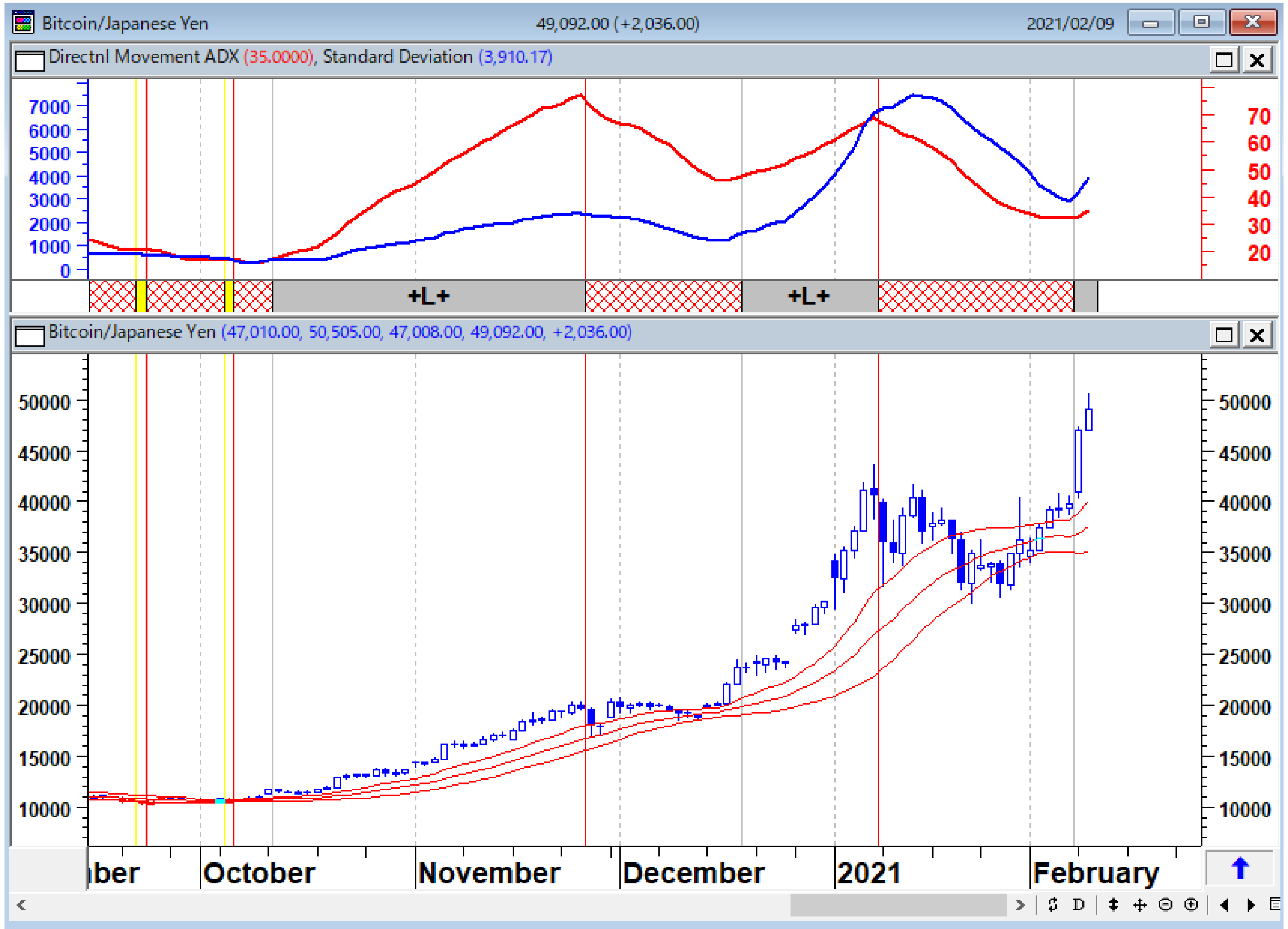
日経平均CFD（日足）の売買シグナル
標準偏差ボラティリティトレード（サイドバー上）
ボラティリティフォロートレード（サイドバー下）



南海泡沫事件とゲームストップ株



イーロンマスクとビットコイン/円の日足

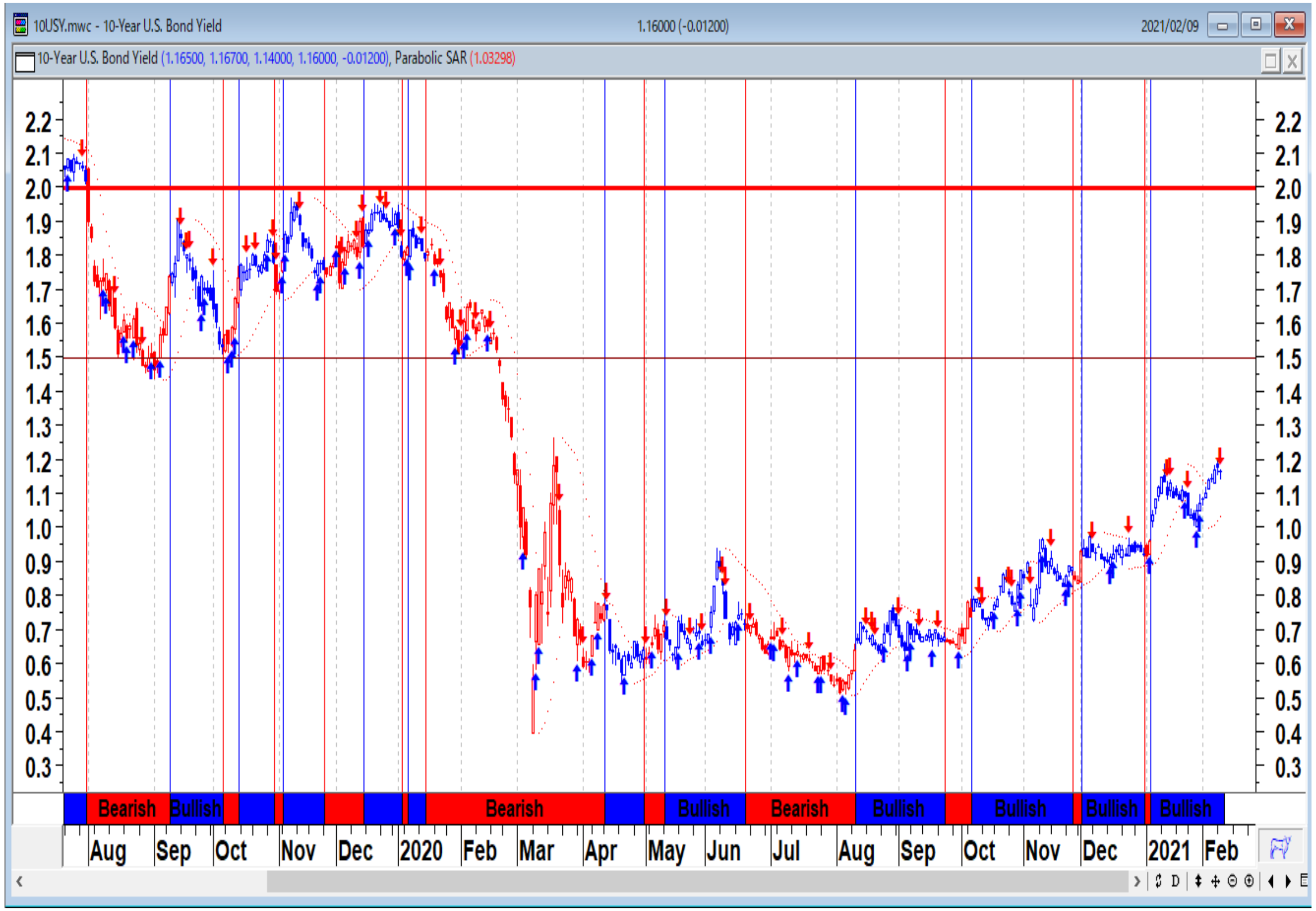


テスラ・ゴールドマンサックス・JPモルガンの日足

ボラティリティフォローモデルの売買シグナル

米10年国債金利（日足）

リフレトレード、株価上昇への新たな脅威か－ウォール街で懸念浮上
米10年債利回りが株式市場に痛みをもたらす水準は２％



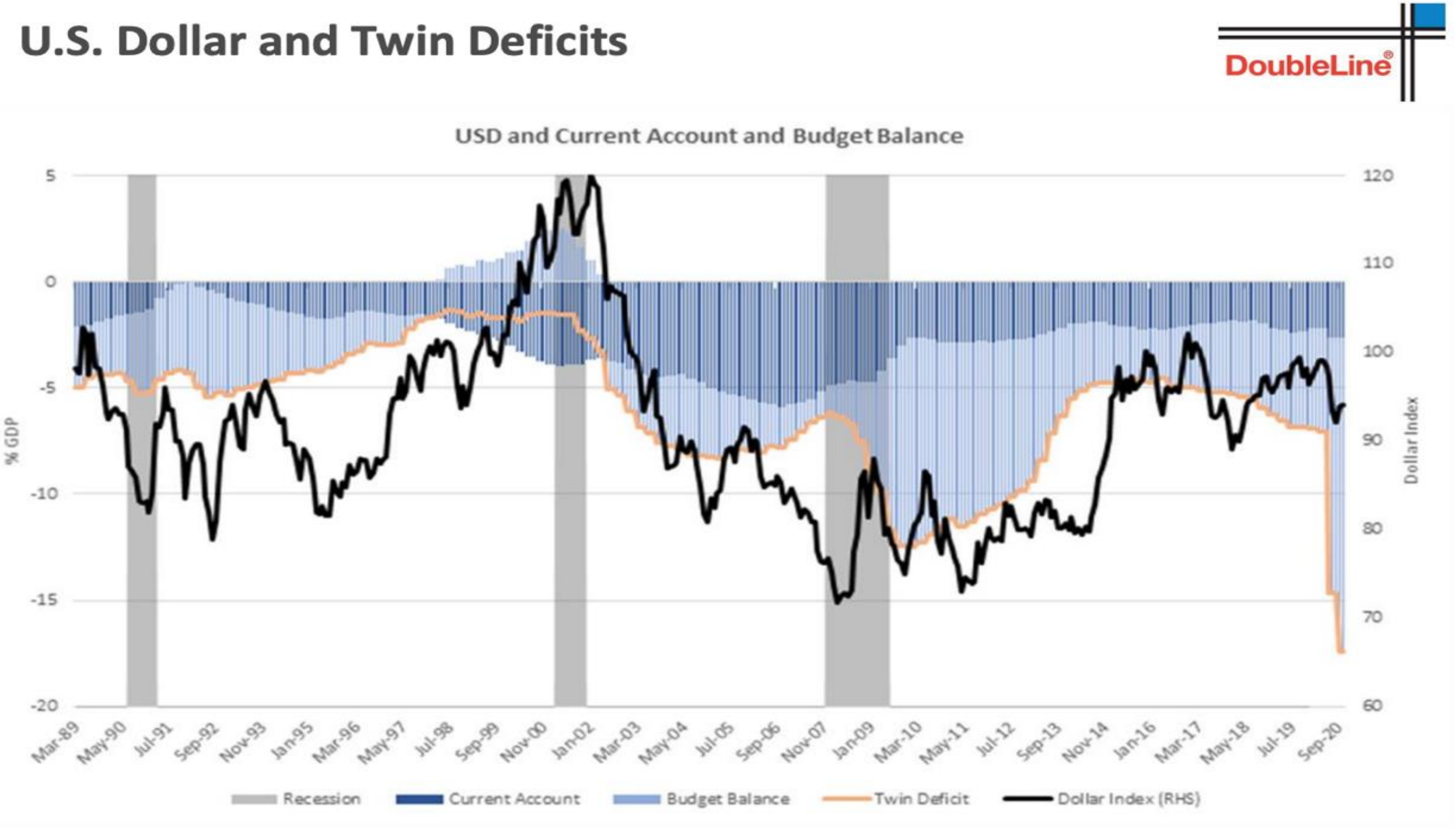
アリアンツのエラリアン氏は、金利の急激な上昇によってFRBが2つのコントロールを失うことを恐れていると指摘している。

もし、イールドの動きが早すぎる場合は、金融安定の鍵である2つのコントロールを失うことを示している。

①TINAという考え方（There is no alternative risk assets：株を除いて他に投資可能なリスク資産はない）

②DCF（ディスカウントキャッシュフローモデル）が発している『株を買え、株を買え』というメッセージ

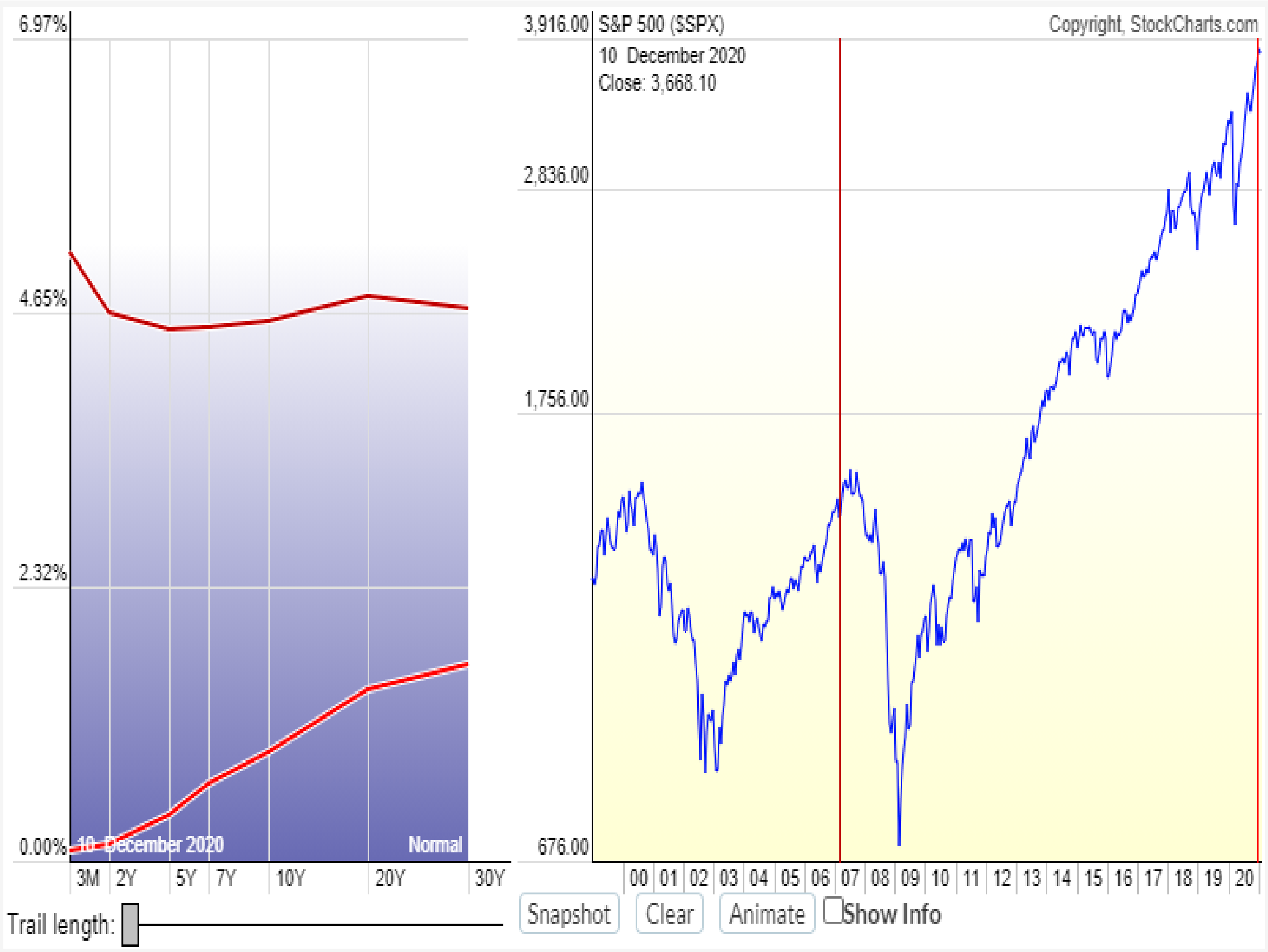
米国の双子の赤字とドルの推移
（オレンジ：双子の赤字　黒：ドルインデックス）



Source: DoubleLine, Bloomberg
DXY = The U.S. Dollar Index
Twin Deficits = U.S Budget Balance + U.S. Current Account Balance. U.S. Budget Balance as of 10/31/2020. U.S. Current Account Deficit as of 6/30/2020. Grey areas indicate recessionary periods.

出所：ダブルライン

米国の利回り曲線とS＆P500の推移



今年最初の5日間で、2年と10年、2年と30年でイールドカーブは20～23ベーシスポイントほどスティープ化した。すると直ちに、ブレイナード、クラリダ、パウエルが集まり、イールドについて口先介入した。FRBがイールドカーブの動きにこんなにも早く行動したことは興味深い。

今年年初に見られたような金利の急激な動きがあった場合、FRBは慌てて火消しに回ることが証明された。金利を上げたくない、上がっては困るという意図が露呈した結果となった。

TBOND先物の日足と週足

海外勢の米国債買いが減少傾向にあり、連銀はどこかで金利上昇を抑えるために、国債の買入れ額を増額する必要に迫られるだろう。買入れ額増額の大義名分として意図的なコロナバブルのミニ・クラッシュをどこかでやるかもしれない。

言うまでもなく、バイデン政権の噂通りの大規模な財政出動政策が決まれば、その原資として増発される米国債を連銀が買い入れ増額で吸収せざるを得ないが、現在のバブルが続いているうちは、買入れ増額の大義名分がない。コロナ終息も逆風になる。

現在の資産価格の上昇はゼロ金利と負債を原動力とする興奮状態に過ぎない。「金利が上がれば株は割高になり買えない」ということを皆が忘れてしまっている。
現在のすべてのバブルを異常低金利が支えている以上、金利の動きから目が離せない。